

「社会的養護で育つ子どもの理解と家庭への支援」 —要保護児童を地域ではぐくむ パート2—

「一般的に子ども虐待は、虐待する親のあり様のみが問われがちです。しかし、子どもの育ちを考えたとき、子どもを成熟した大人へと導くものは、親の力だけに限りません。近隣の人々や学校の教師、サークルのコーチや商店街のおばちゃんやおじちゃん等々、家庭以外のさまざまな大人との交流によって子どもの育ちは支えられています。そしてこのことは、たとえ家庭のなかで虐待を受けても、保育園や学校、地域の人々の温かい眼差しと具体的な手数によって、健全な大人に導かれる子どもがいること、その逆に、虐待を受けて地域で問題を起すからと排除され、誰にも救われずに社会への不信を深め、不幸な人生を余儀なくされた子どもがいるという両極の事実が証明しています。」

増沢高『虐待を受けた子どもの回復と育ちを支える援助』「おわりに」より。

この講演では、昨年度に引き続き、社会的養護の下で暮らす子どもを理解し、地域の中で子どもの回復と成長を支える基本的視点について学びます。
とりわけ、地域で要保護児童をはぐくむ具体的方策について考えます。

- ◆日程 2017年6月8日(木)
- ◆時間 13:00～14:30(12:30受付開始)
- ◆場所 関西大学堺キャンパス A棟 5階 SA501教室
(南海高野線「浅香山駅」徒歩約1分)
- ◆対象 堺市民、学校・幼稚園・保育所・児童相談所・保健センター等の関係者やスクールソーシャルワーカー(SSW)・社会福祉士・精神保健福祉士等の子どもと家庭や地域を繋ぐ専門職やそれに準ずる方
- ◆定員 150名
- ◆費用 無料
- ◆講師 増沢 高氏 (子どもの虹情報研修センター研修部長)
- ◆司会 福田 公教 (関西大学人間健康学部 准教授)
- ◆申込締切 5月26日(金) 必着
- ◆お問い合わせ・申込み はがき、FAXまたはEメールにて
(裏面をご参照ください)
申込多数の場合は、抽選

* 多くの方のご参加をお待ちしております *



■講師プロフィール



増沢 高 (ますざわ たかし)

子どもの虹情報研修センター研修部長。臨床心理士。
主な著作に、『虐待を受けた子どもの回復と育ちを支える援助』（福村出版、2009）、『いっしょに考える子ども虐待』（共編著、明石書店、2008）、『事例で学ぶ社会的養護児童のアセスメント』（明石書店、2011）などがある。

■司会プロフィール



福田 公教 (ふくだ きみのり)

関西大学人間健康学部准教授。社会福祉分野における子ども家庭福祉領域の研究専門。子育て支援、社会的養護のあり方、児童相談システムなどがキーワードです。近年ではカナダやインドネシアの子ども支援団体と連携し、国際的な視野に立った子ども家庭福祉のあり方を考えています。



◆お問い合わせ・申込み
(宛先) 関西大学堺キャンパス事務局 地域連携担当
「社会的養護講演会」係
(住所) 〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1丁-11-1
(FAX) 072-229-5082
(Eメール) sakai-info@ml.kandai.jp
(お問合せ) 関西大学堺キャンパス事務局
072-229-5024 (代表)

2017年度 「社会的養護で育つ子どもの理解と家庭への支援」 申込フォーム

住所 〒	電話番号
	— —
	FAX番号
	— —
(ふりがな)	(備考)
氏名	

ご記入いただいた個人情報は、関西大学個人情報保護規程に則り適切に管理いたします。
本行事への参加登録とご連絡にのみ利用し、これ以外には利用いたしません。